

東京都立葛西工業高等学校 令和4年度 家庭科 家庭基礎 年間授業計画

教 科 : (家庭科) 科 目 : (家庭基礎) 単位数 : 2単位
 対象学年組 : (第2学年2組)
 教科担当者 : (2組 : 高橋・本澤)
 使用教科書 : (「家庭基礎 ともに生きる・持続可能な未来をつくる」(第一学習社))
 使用教材 : (「生活ハンドブック」・自己作成プリント)

	指導内容	家庭基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1 学期	1. これからの生き方と家族 ・青年期を生きる ・家族・家庭と社会とのかかわり 2. 共に生きる ・社会保障制度と福祉 3. 経済生活を営む ・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える 4. 装う ・人の一生と被服 ・被服の製作	＊生涯を見通して自立して生きる土台を築けるよう、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解する。 ＊時代とともに変化する家族・家庭について学習し、かかわる法律や問題を理解し、社会に対応できる力を身につける。 ＊社会保障制度のしくみ、地域住民がともに支えあうネットワーク、地域福祉や生活環境の整備について理解する。 ＊暮らしの基本となる家計の仕組みを学び、計画的に生活を営めるようにする。 ＊契約、多様な販売方法や支払い方法、消費者の権利と責任を理解する。 ＊日常生活に必要な被服の着装について理解する。 ＊被服製作を通して衣服の構成や基礎的な技術を身につける。	○授業に対する積極的姿勢 ○実習の取り組み ○エプロン製作 ○期末考査	24
2 学期	5. 食べる ・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする 4. 装う ・被服の材料と管理 ・被服の製作	＊食生活の現状と課題を知り、健康を保ち元気に暮らすことのできる食生活を構成できる。 ＊栄養や食事についての知識を身につけ、より豊かな生活ができるようにする。 ＊食生活の安全と衛生について理解し、安全な食生活を営むことができる。 ＊調理実習を通して基本的な調理技術を身につける。 ＊被服材料の種類と特徴について学び、より心地よい被服の選択ができる。 ＊被服製作に関しての、基本知識と用具の知識を習得する。	○授業に対する積極的姿勢 ○実習の取り組み ○エプロン製作 ○期末考査	30
3 学期	6. 次世代をはぐくむ ・子どもの発達 ・子育て支援と福祉 7. 充実した生涯へ ・高齢期を生きる ・高齢社会を支えあう 8. 住まう ・人の一生と住まい ・住生活の計画と選択	＊子どもの心身の特徴・発達、遊びの意義を理解する。 ＊子育て支援や福祉について学び、親として、家族として、社会の一員としての役割を理解し、次世代の子どもたちとのかかわりについて考えることができる。 ＊未来の姿である高齢期について理解する。 ＊現代の高齢者の生活や福祉について学び、今できることやこれから取り組んでいくことを考えることができる。 ＊健康・安全で快適な暮らしを安心して継続していくために必要な住まいについての知識を身につけ、今後の住生活の在り方を考える。	○授業に対する積極的姿勢 ○実習の取り組み ○期末考査	16